

中学 1 年 国語科 教材別テスト⑥

「星の花が降るころに」(安東みきえ) / 漢字・語句・文法

1 年 組 番 氏名 _____

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」(P. 1～P. 5)までです。
- 大問四は、教科書『国語 1』(光村図書)の「星の花が降るころに」を開いて解答しなさい。
- 解答は、解答用紙の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能 (50点)

一

次の——線部について、漢字はその読みをひらがなに直し、ひらがなは漢字に直して書きなさい。ただし、送りがなが必要な場合は、必ず書くこと。

1点×20=20点

- | | |
|------------------------|----------------------|
| ① 長い <u>沈黙</u> が続く。 | ② <u>幼い</u> 弟の手を引く。 |
| ③ こぶしを <u>握</u> る。 | ④ <u>隣</u> の席にすわる。 |
| ⑤ かすかな煙が <u>漂</u> う。 | ⑥ <u>鮮やかな</u> 色の空。 |
| ⑦ 遠くの山を <u>眺</u> める。 | ⑧ <u>恐ろしい</u> 夢を見る。 |
| ⑨ <u>普通</u> に話しかける。 | ⑩ 返事に <u>戸惑</u> う。 |
| ⑪ 白い <u>はなたば</u> をもらう。 | ⑫ 花の <u>かおり</u> をかぐ。 |
| ⑬ <u>なみだ</u> がこぼれる。 | ⑭ <u>したしい</u> 友と話す。 |
| ⑮ 去年の <u>きおく</u> をたどる。 | ⑯ <u>こうてい</u> のすみ。 |
| ⑰ <u>しばふ</u> にすわる。 | ⑱ 大声で <u>よびか</u> ける。 |
| ⑲ 夕日に <u>かが</u> やく。 | ⑳ <u>えがお</u> を見せる。 |

二

次の問いに答えなさい。

2点×7＝14点

- (1) 「沈黙」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 声をひそめて小声で話すこと。 イ 何も言わず、黙ったままでいること。
- ウ 考えがまとまらず、まようこと。 エ 相手の話を聞き流すこと。
- (2) 「ぎこちない」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 思いやりがなく、冷たいこと。 イ とても急いでいて落ち着かないこと。
- ウ 動きや言葉がなめらかでなく不自然なこと。 エ 意味がわからず、こみ入っていること。
- (3) 「言葉を濁す」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア はっきり言わずに、わざとあいまいにすること。 イ らんぼうな言い方をすること。
- ウ 言いまちがえて、言い直すこと。 エ 大声でどなりつけること。
- (4) 「気まずい」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 体の具合が悪く、元気が出ないこと。 イ その場の空気が落ち着かず、居心地が悪いこと。
- ウ したいことがなく、たいくつなこと。 エ 人をうらやましく思うこと。
- (5) 「過去」の対義語を、漢字二字で書きなさい。
- (6) 「漂」の部首名を、ひらがなで書きなさい。
- (7) 「青空」と熟語の組み立てが同じものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 新芽 イ 強弱 ウ 乗車 エ 岩石

三

次のA・Bの問いに答えなさい。(活用形は「～形」、活用の種類は「～活用」という形で書くこと。)

2点×8=16点

A 次の——線部の用言(動詞・形容詞・形容動詞)の活用形を答えなさい。

- (1) 友だちに声をかけようとして、やめた。 (2) 私は黙って下を向いた。
(3) 道ばたに咲く花をつむ。 (4) もう少し明るければ、字が読めるのに。
(5) 花のにおいがかすかだ。

B 次の——線部の動詞の活用の種類を答えなさい。

- (6) 落ちた花を拾う。 (7) 窓から空を見る。
(8) 放課後に掃除をする。

思考・判断・表現 (50点)

四

教科書の「星の花が降るころに」を読んで、後の問いに答えなさい。

50点

(1) 「私」とかつての親友との関係は、以前と今とでどのように変わっているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

- ア 以前は親友だったが、今はおたがいをうらんで、けんかを続けている。
イ 以前は親友だったが、今は別の学校に通い、手紙を送り合っている。
ウ 以前は親友だったが、今は顔も見たくないほど相手をきらっている。
エ 以前は何でも話せる親友だったが、今はおたがいに気まずさがあり、距離ができています。

(2) 廊下で待っていた夏実が顔をそむけて行ってしまったとき、「私」はどのような気持ちだったと考えられるか。「～気持ち。」の形で、二十五字以上三十五字以内で書きなさい。 6点

(3) 題名の「星の花」とは、何の花のことか。答えなさい。 3点

四

(つづき)

(4) 「私」は、花の入った袋を持って廊下で夏実を待っていたとき、夏実とどうしようと決意していたか。二十五字以上三十五字以内で書きなさい。 6点

(5) 夏実に顔をそむけられた直後の、色や光の見え方についての描写は、「私」のどのような状態を表していると考えられるか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

- ア 夏実の態度に大きなショックを受け、動揺していること。
- イ 強い日差しのせいで、体調をくずしていること。
- ウ 夏実と仲直りができて、気持ちが明るくなっていること。
- エ 戸部君に腹を立て、顔も見たくないと思っていること。

(6) 戸部君とのやりとりは、「私」にとってどのようなはたらきをしているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

- ア 思いがけないやりとりによって、場面の空気をやわらげるはたらき。
- イ かつての親友との仲を取りもって、二人を仲直りさせるはたらき。
- ウ 「私」をさらに傷つけ、学校がきらいになるきっかけをつくるはたらき。
- エ かつての親友の悪口を言うことで、「私」の味方になるはたらき。

(7) 「私」が、持ってきた花を土の上に落としたことには、どのような気持ちがこめられているか。二十字以上三十字以内で書きなさい。 5点

(8) 花や景色、季節の移り変わりといった情景の描写は、この作品の中でどのようなはたらきをしているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

- ア 物語の舞台がどこにあるのかを、くわしく説明するはたらき。
- イ 「私」の気持ちの移り変わりを、情景に重ねて表すはたらき。
- ウ 読み手に植物のくわしい知識を教えるはたらき。
- エ 時間の流れを止めて、一つの場面を長く引きのばすはたらき。

四

(つづき)

(9) 物語の最後で、「私」の気持ちはどのように変化したか。二十五字以上三十五字以内で書きなさい。 6点

(10) 題名「星の花が降るころに」には、どのような意味がこめられていると考えられるか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 3点

- ア 花が星のように美しいという、見た目の感想だけを伝えようとしている。
- イ 空から星が降るという、この世にはありえないできごとを表している。
- ウ 季節がめぐり、花が降るころに起こった「私」の出来事であることを表している。
- エ 星が消えるように、かつての親友が遠くへ引っっこしてしまうことを表している。

(11) 本文の内容にあてはまるものを全て選び、記号で答えなさい。【完答】 5点

- ア 「私」とかつての親友は、以前は仲のよい間柄だった。
- イ 「私」は、花の入った袋を持って、廊下でかつての親友を待っていた。
- ウ この物語は、「私」が小学生だったころの出来事として語られている。
- エ 「私」は、最後にかつての親友と仲直りをして、以前と同じ関係にもどった。
- オ 戸部君という同級生が登場し、「私」と言葉を交わす場面がある。

解答用紙① 知識・技能

中学 1 年 国語科 教材別テスト⑥「星の花が降るころに」

1 年 組 番 氏名 _____

知識・技能 小計

一 漢字 (1点×20)	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	
	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

二 語句の知識 (2点×7)	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)			

三 用言の活用 (2点×8)	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)		(8)	

※ 三の A (1) ～ (5) は活用形、B (6) ～ (8) は活用の種類を書く欄です。まちがえないようにしましょう。

解答用紙② 思考・判断・表現

中学1年 国語科 教材別テスト⑥「星の花が降るころに」

1年 組 番 氏名 _____

思考・判断・表現
小計

合計（100点満点）

四 「星の花が 降るころに」 (50点)	(1)			
	(2)			
	(3)			
	(4)			
	(5)		(6)	
	(7)			
	(8)			
	(9)			
	(10)		(11)	

※ 記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。(2)(4)(9)は25～35字、(7)は20～30字です。

